

社会科授業案：
教科で育みたい人間像「社会に参画し創り続ける人
」

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡大学教育学部附属静岡中学校 公開日: 2024-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井村, 和仁 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/0002000477

社会科授業案

教科で育みたい人間像 「社会に参画し創り続ける人」

授業者 井村和仁

- 1 日時 令和5年11月2日(木) 第1時 10:20~11:10
- 2 学級 3年C組 (3年C組教室)
- 3 題材名 ベーシックインカムから考える ―すべての人にとって豊かな社会を実現するために―

4 本題材で願う学び

社会を成り立たせている様々な視点から、ベーシックインカムの導入の是非について考える活動を通して、社会の構造を理解する。さらに様々な人の立場から問題をとらえたり、効率・公正な視点を基に自分の考えを構築したりしながら、「すべての人にとって豊かな社会を実現するために」について語り合い、それまでの考えを発展させることができる。(学習指導要領との関連：(1)国民の生活と政府の役割ア(ア)イ(ア) (2)よりよい社会を目指して)

5 これまでの子どもの学び

これまでに以下のような子どもの学びを見ることができた。

一つめは、事象を様々な視点からとらえ、自分なりの考えをもつことである。中学3年生の歴史分野では、第二次世界大戦を学んでいるときに「日本が日中、太平洋戦争に突き進んだのはなぜだろう」という問いを共有した。子どもたちは、日本が参戦したこと、資源を得るために領土を拡大していったことは、それまでの学習から想像することができた。しかし、当時の石油量や艦隊の数を比較した資料を見て、大国であるアメリカに対して日本が攻撃をしたのはなぜなのか疑問をもった。そして、日本が開戦に踏み切るに至った理由や背景を追求した。調べていく内に、「アメリカが石油を日本に輸出しなくなったから」という経済的な視点や「第一次世界大戦の敗戦国であるドイツに過酷な条件を突きつけたからナチスのようなファシズム的な考え方が生まれた」という思想的な視点など、それまでの世界のようにすから考えた。また、「日本の政府が軍部中心となって政治が機能しなくなった」や「世界恐慌によって日本で昭和恐慌が起きて景気が悪かったから」と日本国内のようすからも考えることができた。子どもたちは、一つの視点や立場からだけでは、答えを導き出すことが難しいことに気づき、他者の多様な意見を聞き、自分の考えを広げたり、深めたりすることの大切さを学ぶことができた。

二つめは、子どもが歴史的事象を通して思いをもつということである。先述した第二次世界大戦中の日本のようすとして、神風特攻隊や沖縄戦で日本の兵隊として戦っていた日本人や、広島・長崎への原爆の投下で被害を受けた日本人などの遺言や遺品を通して戦争の悲惨さを改めて痛感し、戦争に対する見方が変わっていった。そして、今ある日本の平和と歴史的事象の

つながりを実感していた。その後、「戦後の日本は、平和になったのか」という問いを考えた。子どもたちは、一言で語れない難しさを感じながらも平和になったのか、なっていないのかを数直線上に表現した。どちらかはっきりと選ぶことはできなくても、どちらかに寄った思いであるのかを考えた。平和になったと考える子どもは、「日本は戦争で負けたり、原爆の投下を体験したりしているからこそ戦争の恐さを知り、戦争がよくないものとして国民がわかっているから」と話し、平和になっていないと考える子どもは、「戦争の被害を受けた地域や戦って亡くなった人たちの家族の立場になったら難しい」というように立場の異なる人たちの気持ちに寄り添いながら思いを語った。さらに、授業の感想からは、「今も戦争が起きているが、平和を実現することは難しいのではないか」や「平和のとらえ方が人によって違うから語り合う必要がある」など、「平和とは何なのか」というさらなる問いが生まれていた。このような学びの深まりは、戦争がもつ本当の恐ろしさを自分ごととしてとらえ、平和について学びがいがあると価値を見いだしているからである。平和を希求する思いと実現の難しさに葛藤しながら、子どもたちなりに思いを超えた願いをもつことにつながった。この願いこそが、これからの社会のありようについて考える原動力となるだろう。

6 題材観

(1) 今、ベーシックインカムを通して考える価値

新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、世の中のありようが大きく変わった。政府の緊急事態宣言により社会・経済が止まり、今までは意識されにくかった問題が表出し、個人や国が、社会のあり方について改めて考えるきっかけとなった。さらに、ベー

シックインカムの導入の是非が議論されるようになった。このベーシックインカムとは、無条件で国民に一定の給付金を支給するというこれまでにない斬新な制度である。これは日本の社会に変化をもたらす大きな可能性を秘めている。ただし、現実的には解決すべき課題や問題が数多くあり、すぐに導入できるものではない。現在、完全に導入している国がないのもそれが理由である。最近では、コロナが落ち着き、日常に戻りつつあることから社会問題への意識が薄らいでいるように感じる。しかし、実際には政府が異次元の少子化対策を行ったり、景気は若干の回復が見込まれるものの、依然として物価上昇が続いたり社会問題が山積している。また、2040年には、日本の人口減少と少子高齢化が進行することで、さまざまな社会問題が顕著に表面化する「2040年問題」が起これと言われている。人口に占める高齢者の割合がピークを迎え、未知の領域に突入することをどれだけの人々が自分ごととして本気で考え、これからの社会のあり方を思い描いているだろうか。私たちの生活を大きく変える可能性があるベーシックインカムを通して世の中を見ることは、社会のあり方を多面的・多角的にとらえることにつながるだろう。

①今の日本の社会をとらえる

今の日本は、社会が成熟したことにより、経済成長を優先してきたこれまでの世の中から、多様な生き方や価値観を尊重する世の中へと変わりつつある。この変革期に生きる人たちは、それまでの時代よりも多くの視点から社会をみているだろう。だが、社会が変わっても、人々が社会に求めるものは、自分の生活の豊かさだろう。ベーシックインカム導入の是非について考える際にも、同様に自分を中心として考えるだろう。普段から社会に興味をもつ人は、社会全体をみてその影響や変化を考えるかもしれない。しかし、ベーシックインカムの導入がもたらす生活の変化やその影響について考えてみると、社会に興味がある人も、興味がない人も、すべての人が「私だったらどのようにお金を使うだろう」と自分ごととして考え始めるのではないだろうか。そして、必然的に「一定のお金がもらえるなら働き方も変わる」「もらったお金を使うことで景気がよくなる」など社会とのつながりを見いだしたり、広げたりしながら、自分が社会に求める豊かさについて考えるのではないだろうか。まさに、多面的・多角的な視点から社会のあり方を再認識、再構築していくのである。(図1)

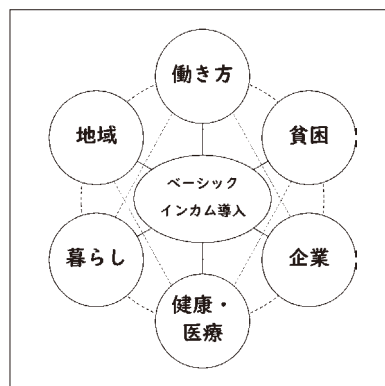


図1 社会のあり方のイメージ図

②これからの社会像を思い描く

今の社会のありようが見えてくると、現在の社会問題も様々な要素が複雑にかかわり合いながら起きていることに改めて気づく。「少子高齢化」「貧困問題」「経済格差」など、実感は伴わないかもしれないが、事象としては理解しているだろう。しかし、重要なのはこれからの社会のあり方に対してその人なりに思いや願いをもち、社会問題をどのようにとらえるかということである。例えば、「自分が将来家族と幸せに暮らしていきたい」や「両親が年をとっても安心して暮らせるようになってほしい」など、社会に対して願いや希望を誰もがもっているはずである。つまり、誰もが「豊かに暮らしたい」と思っているのである。この豊かさが社会の発展とともに変化するからこそ、社会を創る当事者同士が語り合い、互いの願いを知ることが重要である。さまざまな立場や視点から社会を見つめることで、よりよい社会のあり方が見えてくるのではないだろうか。

(2) 本題材で願う子どもの姿

本題材は、先述したように今ある社会の姿を知り、ベーシックインカムが導入された社会と今の社会のありようを比較することで、これからの社会を考えることができる題材である。子どもたちが今の社会のありようを知る過程において、社会の中にはさまざまな生き方があることに気づくだろう。「こんなにも貧しい暮らしをしている人たちがいるのか」「日本人は海外と比べてとても働き過ぎだ」「自分の生活は贅沢だ」と他者を知り、自分と向き合うことを自然と繰り返すことで視点が増えていこう。また、ベーシックインカムの導入の是非を話し合う場面では、自分と異なる意見に対して、その人がどの立場で何を大事にしているのかという思いや価値観にふれたときに、少しずつ社会を創る当事者意識が高まるだろう。さらに、豊かさについて考える必要を感じた子どもたちは、「すべての人々たちにとって豊かな社会を実現するためにすべきこと

社会科授業案

とは何か」について積極的に語り合うだろう。社会全体を考えた自分のあり方や行動、社会に対する願いなど、その子が社会の一員として大事にしたい本質的な価値を見いだすことを期待する。これからの社会のあ

り方は、自分一人で思い描くだけでなく、仲間と語り合うことでさらに変容し続けるだろう。このように構築された「豊かな社会」観をもつことで、自分自身のあり方や行動が変わっていくことを期待する。

7 題材構想（全9時間）

- ①豊かな社会って何だろう。（1時）
- ②ベーシックインカムが導入された社会と今の社会ではどちらが豊かな社会なのだろう。（2～5時）
- ③様々な立場からベーシックインカムが導入された社会と今の社会のあり方を考えてみよう。（6～7時）
- ④ベーシックインカムが導入された社会と今の社会ではどちらが豊かな社会なのだろう。（8時：本時）
- ⑤すべての人たちにとって豊かな社会を実現するために大切にすべきこととは何だろう。（9時）

8 題材構想における授業者の考え

(1) ベーシックインカムから社会を考える

授業の導入では、日本の豊かさを考えながら社会を構成する視点を見いだしていく。その中で「果たしてすべての人が豊かと言えるだろうか」と問うと子どもたちは、貧しい人たちをすぐに思い浮かべるだろう。そして、それ以外にも様々な社会問題が潜んでいることに気づくだろう。そのように日本の負の側面に目を向けている子どもたちに、ベーシックインカムという制度が検討され始めていることを伝え、斬新なやり方とシンプルな仕組みに興味を示したり、疑問が浮かんだりするだろう。さらには、日本のこれからの社会のあり方を考えるために、子どもたちの柔軟な発想や知的好奇心を存分に発揮できる学びの環境づくりをする必要がある。先述したように、これからの日本の社会像を思い描くことをねらいとしており、ベーシックインカムの制度を検討する訳ではない。誰にとっても未知の制度であるベーシックインカムが導入された社会のあり方を考えるためには、必要最低限の設定を提示する必要があると考えている。例えば、財源確保の仕方や給付金額である。現時点での妥当な条件を設定した上で、子どもたちがベーシックインカムをとらえられるようにしたい。

(2) 社会をみつめて自分ごとにするために（8時）

子どもたちは、社会のことについて語る際、評論家のような語りをすることがある。特に社会問題については、見聞きしたことしかなく実感が伴わないため仕方がないことではあるが、自分ごととして語ることで、願う学びが実現できると考えている。そこで、一般的な四つの立場の人たちがどのような生き方をしているかを知るための活動を行う。四つの立場は、貧しい生活をしている世帯、高齢者世帯、高所得者の世帯、共

働きの子育て世帯と設定する。これらの人たちを取り巻く環境や思いを扱うことで、様々な問題が見えてくるはずである。社会問題を表面的な理解で済ますのではなく、その人自身の暮らしを想像し、一步踏み込み、実感を伴った理解をできるようにしたい。ベーシックインカムの導入の是非について語る際、子どもたちは、それまで調べてきた人の立場から考えや思いを語り合うだろう。社会のあり方が広がったがゆえに、社会に対して自分が何を願うのかを問うことになる。そのような活動を通して、様々な立場から物事を考えられるようになり、社会に対する思いや願いをその子なりにもつことができることを期待する。

(3) 本質に迫る問いによる焦点化（8～9時）

ベーシックインカムを通して日本の社会のあり方を考えていく中で、様々な思いや願いがぶつかり合うだろう。それはその子ども自身が考えている、大切にしたい「豊かさ」が見えてきているからこそである。「豊かさ」の本質を見いだした子どもたちは、「豊かな社会を実現するには何が大切なのだろう」と問われることで、それまでに生まれてきた豊かさへの思いがあふれるだろう。ただし、その思いはあくまでも自分自身から見たものである。題材の最後に「すべての人にとって豊かな社会を実現するために、大切なものとは」と問い返すと、社会全体が見え、それまで出会った立場の人たちへの思いと自分自身が抱く思いが重なり合っ

9 予想される子どものあらわれ

時数	活動、問い	子どものあらわれ
1	<p><u>豊かな社会って何だろう</u> 【社会の豊かさについて考える活動を通して、豊かな社会とはどのようなものかイメージを広げる】</p> <p>○「日本の社会は豊かなのだろうか」となげかける。</p> <p>○「すべての人たちが豊かなのか」と問い返す。</p> <p>○ベーシックインカムという制度が何年後かに日本で導入されるかもしれないことについて、授業を終える。</p>	<p>子どものあらわれ</p> <p><豊かだと思う人たちの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣食住がそろっている。 ・お金やモノが手に入って生活に困らない。 ・生活保護などの制度があるし、安心できる。 ・コロナのような感染症が流行しても、政府が対応してくれた。 ・好きな物を食べたり、推しを眺めたりなど自分がやりたいと思ったことを実現できる。 <p><豊かでないと思う人たちの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧しい人たちもいる。 ・ヤングケアラーという言葉も最近聞いたことがある。 ・高齢者が高齢者のめんどうを見る老老介護もある。 ・働き過ぎで病んでいる人もいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックインカムとは何か。 ・どのような仕組みなのか。
2～4	<p><u>ベーシックインカムが導入された社会と今の社会とでは、どちらが豊かな社会なのだろう</u> 【ベーシックインカムの導入の是非を考えるために、視点を見だし、調査意欲を引き出す。共有の場面では、他の視点について知ることで見方を広げ、視点同士がつながることに気づき、社会の仕組みをより深く理解する】</p> <p>○ベーシックインカムの設定を提示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>設定内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金は毎月10万円。 ・全国民に無条件で給付をする。 ・財源は、今ある2つの制度を以下のように変更し、確保する。 ①社会保障費を無くす（生活保護、国民年金などは無くなる。医療費は10割負担とする） ②所得税の累進課税率を最大65%に引き上げる。（高所得者の税率を今よりも高くする） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックインカムが導入されたらどのような社会になるのか。 ・一人につき毎月10万円って大きい金額だ。 ・私や家族は何に使うのか。 ・もしかしたら働かなくなる人もいるかもしれない。 ・社会保障とは、どのような仕組みなのか。 ・高齢者は、10万円だけで生活できるのか。 ・医療費10割だと、病院代がかなり高くなる。 ・高所得の人たちから多く税金をとるのか。 ・喜ぶ人たちと嫌がる人たちが両方いそうだ。 ・所得税とは、どのような税だろう。 ・累進課税とは、どのような仕組みなのか。

<p>○ベーシックインカムが導入された社会を考えるために、どのような視点で考えればよいだろう。</p> <p>○4人班で、視点ごとに手分けして調べていく。</p> <p>※下記のイメージ図のように視点同士をつなぎ合わせ、子どもたちなりに社会の姿を膨らめられるように子どもたちとかがわる。</p> <div data-bbox="336 584 726 963" data-label="Diagram"> </div> <p>※4時の後半には、班で意見を共有する場を設ける。</p>	<p><社会保障></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障は、医療や年金、介護、雇用保険や労働災害補償保険、介護保険、社会福祉、公的扶助、公衆衛生がある。 ・生活保護は、公的扶助にあたるらしい。 ・社会保障の財源は使用者負担が小さく（26.5%）被保険者負担（29.4%）が非常に多い。公的負担（39.2%）も多い。 ・社会保障関係費の割合って、年金、医療、介護の給付が78.4%で高い割合を占めている。 ・社会保障と国民の負担は、世界の中で小さいが、福祉は高い方だ。 <p><税金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金は、所得税、法人税、消費税が8割を占めている。 ・所得税の累進課税とは、所得の金額ごとに割合も変わる。一番高い税率は45%だからベーシックインカムを導入すると、これよりも高くなる。 <p><働き方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の労働時間が、世界でも韓国とアメリカについて3位である。過労死や長時間労働なども問題となっている。 ・ベーシックインカムが導入されたら、働き方が変わりそうだ。 <p><貧困></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対的貧困と相対的貧困がある。日本は、相対的貧困が多く、国の生活水準よりも困窮している人たかもたくさんいる。（国民の15.7%） ・貧困層とは、127万円未満の所得の人たちをさす。 ・生活保護がきちんと機能していない。 ・非正規雇用が多いから収入も少なく、コロナのようなときには失業してしまう可能性が高い。安定していない。 <ul style="list-style-type: none"> ・共有してみると、どの視点もつながっているように思える。 ・豊かな社会を考えると、どの人たちから見のかによって違う気がする。 ・社会は自分が思っていたよりも色々な人がいてその人の暮らしがあるから決めるのが難しい。 ・色々な問題があるが、まずは貧困の人たちを解決しなければならないと思う。
---	---

<p>5</p>	<p><u>ベーシックインカムが導入された社会と、今の社会とではどちらが豊かな社会なのか、全体で意見を共有しよう</u></p> <p>【ベーシックインカムが導入された社会と今の社会とでは、どちらが豊かな社会になるのか自分なりの意見をもつ。全体で意見交換することで、自分の考えをより深めたり広げたりする】</p> <p>○ベーシックインカムが導入された社会と今の社会とでは、どちらが豊かな社会になるのだろう。</p> <p>※どちらかを決めることが難しそうな子どもがいた場合、「どちらとも言えない」という選択肢を新たにつくる。その上で、なぜ決められないのか、理由を問い返す。</p>	<p><ベーシックインカムが導入された社会派></p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての人たちに10万円を給付するという事は、貧困で苦しんでいる人たちや働き方で悩んでいる人たちなど、多くの人たちを救い、社会のあり方がよい方向に変わるから。 • 社会保障がないとアメリカのような自己責任の国になるが、その分投資などでお金を増やし、各自で個人の保険に入るようにする。 <p><今の社会派></p> <ul style="list-style-type: none"> • 社会保障がなくなるということは、これからさらに増える高齢者の人たちや医療を必要とする人たちへの負担がかなり大きくなり、10万円の給付だけでは生きていけない。 • 高所得の人たちや社会的に弱い立場の人たちが損をするような形になるため、不公平なので今の社会の方がよいと思う。 <p><どちらとも言えない派></p> <ul style="list-style-type: none"> • 豊かさは、人それぞれ違うからどちらかにするのは難しいから決められない。 • どちらも豊かな社会にならないのではないかな。みんなが豊かになるには、それぞれ何かを直さなければいけないと思う。
<p>6～7</p>	<p><u>様々な人の立場に立って、今の社会に目を向け、どのような社会が豊かなのか考えよう</u></p> <p>【立場を変えてベーシックインカムについて考え、視点を広げる】</p> <p>○班ごとに一つの立場を設定して話し合う。ただし、担当する立場はカードを使ってランダムで決める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>立場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> • 貧しい生活をしている世帯 • 高齢者世帯 • 高所得者の世帯 • 共働きの子育て世帯 </div>	<p><貧しい生活をしている世帯></p> <ul style="list-style-type: none"> • 生活保護は、手続きが面倒で基準も厳しい。だから、本当に必要とされている人たちが使えない（使わない）現状がある。 • 働かない人が増えるかもしれない。 • 貧しい人たちの中には働きたくても働けない人がいる。 • ヤングケアラーという言葉が最近よく聞く。あれは貧困が関係しているのだろうか。

	<p>それぞれの立場の年取・家族構成・年齢などを具体的に設定する。</p> <p>※班で話し合う中で、調査をする必要が出た場合、各自で調べ学習を行う。</p> <p>※7時の後半には、全体で意見を共有する場を設ける。</p>	<p><高齢者世帯></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がこれから増えると言われているが、今の財政状況で大丈夫なのだろうか。 ・最近増税している理由がわかった。 ・国民年金とか医療費が無くなると、10万円だけで本当に暮らしていけるのだろうか。 ・自分たちがかかると医療費は500円だが、これは社会保障なのだろうか。 ・高齢者が病院に来なくなったら、経営が悪化する病院も出てきそう。 <p><高所得者の世帯></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックインカムが導入されるメリットって何があるのだろうか。給付された10万円よりも、税の負担の方が大きいって損している。 ・大谷翔平ぐらい稼いでいけば、所得税を多く納めても影響はないかもしれない。 ・お金持ちは、生活に余裕があるから投資にお金を回してさらに稼いでいる人もいる。 ・今の政府が、貯金ではなくて投資をして自分で老後のお金を増やすよう言っているのを聞いたことがある。 <p><共働きの子育て世帯></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は共働きの家族が多い。どうして共働きをしているのだろうか。 ・幼稚園とか保育園はいくらなのだろうか。それに大学は高額な授業料がかかるらしい。 ・塾代が高い。 ・今は物価が上昇していて、昔の値段では物が買えないから余計にお金がかかる。
<p>8</p>	<p>話し合ってきたことをもとに、ベーシックインカムが導入された社会と今の社会どちらが豊かな社会だと考えるか</p> <p>【自分なりに築いてきた考えを共有し、他者の価値観と比べることで考えを深める。さらに、自分なりの豊かな社会像を構築する】</p> <p>○ベーシックインカムが導入された社会と今の社会とで、どちらが豊かな社会なのだろう。</p> <p>※どちらともいえない派が多い場合は、「あなたの考えるよりよいベーシックインカムとは？」という問い返しをする。</p> <p>※ベーシックインカムの具体を語るのではな</p>	<p><ベーシックインカムが導入された社会派></p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧しい人たちの置かれている状況は自分が思っていたよりも厳しい。生活保護がうまく機能していない。もし子どもがいた場合、子どもも貧困になる可能性が高いから、ベーシックインカムで生活を保障すべきだと思う。 ・子育て世代の人たちはさまざまな場面でお金がかかるから、お金で応援してあげたい。少子化対策や教育の質も上がるのではないかな。

	<p>く、「豊かな社会像」について考えるための問い返しをしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生き方が実現できる社会になってほしいから、仕事だけに縛られるのではなく、個性を生かしながらチャレンジできる社会をめざしたい。 <p><今の社会派></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもなど対象をはっきりさせてお金を使っているように思った。限られた財源だからこそ、お金をばらまくのではなく、使い道をはっきりとしていくべきだ。 ・さまざまな人たちがいる中、ベーシックインカムでもらったお金を無駄に使う人がいるのは許せない。 <p><どちらとも言えない派></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらであっても、日本は豊かになれないと思う。どちらも問題を抱えていて、社会の問題を全部解決することにはつながらない気がする。 ・どの立場に立って考えても、私たちの生活には政府がどう動くかによって大きく左右される。 ・得をするか、損をするかという考えだけではない気がする。必要な人たちに必要な分だけお金が行き渡るような仕組みが必要だ。
<p>9</p>	<p>すべての人たちにとって豊かな社会を実現するために大切にすべきこととは何だろう 【豊かな社会を思い描きながら、自分の価値観や他者の価値観を深めたり、広げたりする】</p> <p>○すべての人たちにとって豊かな社会を実現するために、大切にすべきことって何だろう。</p> <p>※必要に応じて、最も大切にすべきことは何か問いかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育を大切にすべきだと思う。社会を創るのはこれからの子どもたちで、きちんと社会のことを知ってよりよい社会のあり方を考えるようになることが一番重要だ。 ・社会に参画しようとする意志だと思う。18歳になったら選挙権をもつけど、そこでどんな社会を創りたいかを意思表示することはとても重要だと思う。 ・個人の損得で考えずに、社会全体が豊かになるような視点で見ること。 ・豊かさというのは一人では成り立たないから、支えている人がいることを理解すること。 ・多様な価値観があることをきちんと理解することが大事。相手に直接自分なりの気持ちを伝えようとして、否定せずに受け入れたることで協力し合える関係が築けると思った。

参考文献：井上智洋（2021）『現金給付の経済学』NHK出版新書

竹中平蔵（2022）『ベーシック・インカム』クロスメディア・パブリッシング